

# お西さん

2001  
11-12

## 「入り相の鐘」

街路樹の「ナナカマド」が美しく色付き、緑地帯の木々もいつのまにか落葉して秋の深さが感じられます。

私の好きな詩に「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」というのがあります。この詩に子供の頃に食べた、あの真っ赤に熟した柿の色を思い出します。

また、奈良の都、法隆寺近郊の田園の稲の穂が、あたり一面黄金に輝き、夕日の沈んで行く姿が想像されます。

一日、一生懸命に働いた人々が、沈む夕日に西方浄土を思い、入り相の鐘の音にみ仏の声をきかれたかとも思っています。

現代に生きる私たちは、美味しそうな柿をみても、いくらしたのか、どこで売っていたのかなど値段のことはかり気にしていません。鐘の音もただの騒音としか感じることができません。

よく世の中が変わったと言いますが、柿の色も鐘の音も昔も今も変わり無く、ただ変わったのは私たちの心のありようではないでしょうか。

親鸞聖人は、自分の都合によって激しく変わる心の中に、どのようなときにも変わることはない信心という拠りどころを戴いて生きる、ほんとうの生き方のあることを教えてくださっています。

輪番 吉川 孝臣



報恩講 御満座法要

12月28日(金)~30日(日)は本堂の「御煤払い」と、

御本尊の「御身拭」のため月忌参りをお休みさせていただきます。

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

宗祖親鸞聖人

# 報恩講

## スナップ集

平成13年  
10月13日～16日



ピカピカになったわね!



婦人会の方がお磨きをしてくださいました。

殿平善彦氏の御説法



台町出張所報恩講

おとき美味しかったです。



お疲れさまでした!



ありがとうございます  
ございます

親鸞様  
ありがとう

園児参拝



何当たったの?



よろこびの広場でのひととき



◎×ゲームで盛り上がってます。



中村時子さん  
オンステージ!

お浄土の荘厳を...



親鸞様へのお赤飯



ようこそのご参拝でした。

## 報恩講聴聞記

仏教壮年會會長 梶原佑倅

冬間近の寒風に揺れるすすき野の山、朱鞠内の炭坑跡地に立つ殿平布教使のお姿が目につかぶ。「仏教徒の声が聞こえない。念仏者の声が聞かれない。この悲惨な戦争という名の殺戮に、この業火に身を挺することなき名ばかりの宗教者を悲しむ」。先生のご法話の第一声が心に染みる。明治の真宗僧侶・高木顕明師は「非戦」を宣言し、「極楽世界には他方の国土を侵害したと云ふ事も聞かねば、義の為に大戦争を起こしたと云ふ事も一切聞かれた事はない。依つて余は非開戦論者である。戦争は極楽の分人の成す事ではないと思ふて居る」と呼びかけられた。約百年後、今そのお声を耳にした。念仏者としての強いご信心に身体一杯訴えられる殿平善彦師であった。

報恩講四日間、先生の九座十二席の法縁に侍らせていただいた。お晨朝の秋のしじまに、窓を射て朝陽が端座する先生の墨染を照らす。ご仏前に深い礼拝のお姿。人、仏に遇い、人、人に逢う。法は人より人に伝わる。念仏を随喜するその人の姿が後人に念仏を伝える。親鸞聖人九十年のご生涯を随喜し、異を歎じ、報恩の誠が清き流れのように七百四十年連綿として今日の席に届けられた。老母の手を引き聞法された壮年の方。また孫へ、年に一度の報恩講は宗祖に改めてお逢いできる好縁である。先生は人の縁を強調された。若き日演劇を志されたとのこと。磨かれたお声は肺腑を剝る。炭坑、ダムに死の強制連行された異国の労働者。苦難の末捜しあてた遺族との対面、悲泣を超えて友情の輪を抜ける。父とも分らぬ遺骨を抱きかかえて涙の底から真宗に目覚めた遺族もあった。その土を掘り続けられた先生の手は菩薩の御手。

お軽同行のお話は節談説法。亡きお父上の節を



障子の陰から学んだとのこと。十三年の月日を経てお軽さんは真の念仏者となられた。別院本堂正面、阿弥陀仏のお姿は、今秋十三回忌わが子のわれを喚ぶ本願と重なって見えた。

## ようこそお寺に

仏教婦人會會長 木村紀和子

結婚により浄土真宗本願寺派にご縁をえましたが、深く考えることもなく、お参りのときお線香を折って横にする程度。

昭和六十一年四月、夫の病死で「浄土真宗本願寺派って何でしょう」の問いにお寺さんからの「お寺にいらっしやい」のお声かけで、毎日晨朝参り。事あるごとに、お寺参り。阿弥陀様の真正面に座して、「寂しい」「悲しい」「苦しい」が、不思議に「喜び」に変わりました。

「報恩講って何ですか？」と、きよろきよろほんやりの私、お寺で多くの皆様の、暖かく、優しく、厳しく、お教え、お育てを頂きました。おかげさまで、お寺大好き人間になりました。もったいのうございませ。

平成十三年役員改選で、仏教婦人會會長に喜んで元気に勤めさせていただいております。会員の皆様におかれましては、日頃お忙しいところ、お疲れのところ、仏教婦人會行事にお手伝い頂き、心よりお礼感謝申し上げます。行事のお手伝いで、お参り・ご法話を聴くことが困難、何とかご出席をさせていただきたいと願うことです。日頃より心苦しく思っております。報恩講十四日朝のお斎の席で、お晨朝にお参りできなかった方々より今日のご法話を問われ、出席者が順に一言ずつ法話を伝えて下さり、さすが諸先輩お見事です。本当に楽しいおときを頂くことが出来ました。これは素晴らしい事だと思えました。皆様が輪になって自分の思っていることを話し合い、聴き、そして感想を声に出しあうひとときは報恩講中の大きな喜びでした。

どうぞ皆様、お寺において下さいませ。おまちしております。



## 仏教婦人会一日研修旅行

八月二十七日八雲西教寺様へニューパシフィック

去る八月二十七日、仏教婦人会の一日研修旅行が行われました。吉川輪番御夫婦をはじめ、総勢二十九名の参加を頂き、楽しい一日となりました。別院を出発し西教寺様にお参りをさせて頂き、ご住職様に御法話を頂きました。その後、ニューパシフィックホテルにて美味しいお食事を頂き、ゆつくり温泉に入り函館へと帰路につきました。

また来年も開催させて頂きたいと思っておりますので、たくさんの方の御参加をお待ちしております。



## ボーイスカウト函館第二団上進式

十月二十日

ボーイスカウトでは十月二十日(土)に上進式が行われ、二名のスカウトが晴れてカブスカウトからボーイスカウトの一員となりました。吉川育成会会長に臨席頂きスカウトたちは緊張していましたが、無事に式を終えることができました。これからもがんばれ!



# ◆◆西別院からのご案内◆◆

仏教婦人会

11月26日(月)

## 報恩講

物故者追悼法要

●午後1時より●本堂にて

法話 吉川輪番

仏教壮年会・覚信尼会・仏教青年会合同

## 報恩講

12月15日(土)

●午後6時より●本堂にて

法話 吉川輪番

みんなで除夜の鐘をつきましょう



みんな来てね!!

# 除夜会

12月31日(月)

午後11時30分より  
本堂にておつとめの後  
引き続き除夜の鐘

大晦日

仏教壮年会・甘酒等ボーイスカウトかがり火付番の  
ご奉仕で皆様をお待ちしております。

新年の始まりにお参りしましょう。

# 修正会

1月1日(火) 元旦

午前7時より  
本堂にてお勤め

2001函館組基幹運動研修会

# 第6回 ほのぼの お念仏の集い

温泉 食事 演劇 お笑い 法話

楽しみながら仏法に耳を傾けてみませんか!

12/5水~6木

◆函館・湯の川花びしホテル

◆参加費10,000円

◆どなたでも参加できます!

参加ご希望の方は別院へ

11月15日(木)までお申し込みください。



## 初めての体験が、君たちをまっている



小学生になったら、きみは元気なビーバーだ!

ビーバースカウト活動は、ボーイスカウトで一番年少の小学校就学前の9月から小学2年生までを対象としています。活動は、土曜や、休日の余暇を利用して行われ、この年代の特性や成長をふまえて、次の3つのことにねらいを置いています。

(●みんなとなかよく遊ぶ●自然に親しむ)  
●楽しみや喜びをわかちあう

ビーバースカウト活動のプログラムの1例 **ビーバー隊年間活動例**

### テーマ

- 9月…集まれビーバー
- 10月…実りの秋
- 11月…ほくら忍者
- 12月…暖かい心と手
- 1月…仲よしビーバー
- 2月…風の子ビーバー
- 3月…北風と太陽
- 4月…春のあし音
- 5月…青空高く
- 6月…ほくらのまち
- 7月…ほくはものしり博士
- 8月…太陽がいっぱい

### 主なねらいと内容

仲間意識を育てる—入隊式・仲よしゲーム  
 秋の自然に親しむ—落ち葉ひろい・はり絵  
 創造力を養う—忍者道具作り・忍者ゲーム  
 奉仕活動—年末助け合い募金・もちつき  
 他の団との交流—年頭交歓大会  
 冬の遊びを体験する—雪中ハイキング・ソリ遊び  
 自然を知る—風車を使って遊ぶ  
 春の自然にふれる—山菜採り・押し花作り  
 エネルギーの発散—ピクニック・公園で遊ぶ  
 郷土意識を育てる—街を調べ見学する  
 思考力・探求心を養う—乗り物・動物・天体などを調べる  
 冒険する心を育てる—ビーバーキャンプ

お問い合わせ

本願寺函館別院ボーイスカウト函館第2団  
担当/八木まで

# ●お寺へ行く日

ようこそ常例布教へ

- 十一月十三日(火) 北海道教区十勝組 光明寺  
十五日(木) 藤森 晃道 氏
  - 十一月十六日(金) 親鸞大学「十四時より」
  - 十二月十三日(木) 北海道教区日高組 西光寺  
十五日(土) 豊田 靖史 氏
  - 十二月十六日(日) 親鸞大学「十四時より」
- ※なお、毎月十六日は、十二時半より「十六日会」です。

お悔やみ申し上げます



## お西さんテレフォン法話

にし にし  
0138 27局 2424番

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

- 11月 4日(日)～11月10日(土)…西村(承)
- 11月11日(日)～11月17日(土)…吉川(輪)
- 11月18日(日)～11月24日(土)…布教使
- 11月25日(日)～12月 1日(土)…神田(副)
- 12月 2日(日)～12月 8日(土)…脇坂(副)
- 12月 9日(日)～12月15日(土)…吉村(参)
- 12月16日(日)～12月22日(土)…布教使
- 12月23日(日)～12月29日(土)…高倉(参)
- 12月30日(日)～ 1月 5日(土)…石黒(承)

永代経懇志ありがとうございました

生きるよろこびを  
親鸞聖人に学ぶ

## 函館親鸞大学

◆講師 渡辺 春龍氏  
◆開講日時 毎月16日  
午後2時より

※但し、10月は休講

◆受講料 **無料**  
(但し、教材費別途)

入学に  
年齢・資格  
性別の制限は  
ありません

どなたでも  
お気軽に御参加下さい。

## お詫び

「お西さん」九・十月号紙面にて間違いがございましたことをお詫び申し上げます。

## 編集後記

▼親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ法要、「報恩講」をおつとめさせていただきました。十六日の満日中には心身共に報恩感謝させていただくよろこびを感じさせていただきました。御法中様、各教化団体の皆様はじめたくさんの方々のお世話になり、本当に有り難うございました。

(八木)

学校法人

# 龍谷幼稚園便り

子どものつぶやき



りんご狩りでのひとコマ

「先生、りんごむくの上手だね」

「えー。ママの方が上手だよ!だって先生まだお姉ちゃんだもん」



先生「Kくんのお兄ちゃん何年生?」

Kくん「3年生だよ」

先生「じゃあお姉ちゃんは?」

Kくん「1年生だよ」

先生「そうしたらKくんは?」

Kくん「2コース!」(バスの2コースのこと)

先生「(大爆笑)」

先生「Aちゃん、今日の朝は何を食べてきたの?」

Aちゃん「牛乳とドーナツ!牛乳一発で飲んだよ」

先生「一発!?!」



「明日、雨降りそうだね」

「おに(かみなり様)なら  
わかってるけどね」

Yちゃん「先生!Nちゃん  
泣いてるよー?」

先生「えー?どうしたの?」

Kちゃん「なんもだよ。いつもの  
泣く時間なんだー」

先生「……」

平成  
14年度

## 園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を りゅうこくようちえん 龍谷幼稚園 です。  
伝える宗教教育、それが



願書受付  
平成13年  
11月6日 火  
13:00から



お問い合わせは 龍谷幼稚園 ☎23-0274